

2018 南関東支部 秋季大会 実施要領

2018.7.15

南関東支部 競技部長 須藤邦夫

- ・ 形態 トーナメント形式とし、本戦のベスト8および敗者復活戦の勝ち上がり6チーム、合計14チームが関東大会に出場する。
関東大会抽選会期日までに優勝チームが決定しない場合は、得失点差が大きいチーム、同位の場合は失点の少ないチームを暫定1位とする。
敗者復活戦が全て終了せず、代表チームが決定しない場合にも得失点差が大きいチーム、同位の場合は失点の少ないチームを優先順位とし関東大会出場チームを決定する。
- ・ 日程 予備日を含め以下の通り。
8/19(日)、8/25(土)、8/26(日)、9/1(土)、9/2(日)、9/8(土)、9/9(日)、9/15(土)、9/16(日)、9/17(月・祝)、9/22(土)、9/23(日)、9/24(月・祝)
※ 東アジア宮崎大会 8/16(木)～8/21(火)
関東連盟秋季大会 10/7(日)～11/4(日)
- ・ 標準試合開始時刻 第1試合 9時、第2試合 11時、第3試合 13時
- ・ 提供グラウンド 鶴見、横浜南、横浜旭、瀬谷、横浜泉、藤沢、厚木、平塚、小田原足柄、三島、富士、富士宮、静岡蒲原
- ・ 試合形式 試合は7回戦とし、5回終了を以って正式試合とする。
4回終了時10点差、5回終了時以降7点差以上の場合コールドゲームとする。
ただし、決勝戦はコールドゲームを適用しない。

試合は2時間制限試合とし、5回以降試合開始から2時間を超えては新しいイニングに入らず、制限時間に達した時点でのイニング(表裏)を最終回とし、そのイニング終了時点で同点の場合は、それ以降はタイブレーク方式を採用する。(4回終了以前に2時間が経過した場合でも試合が成立する5回終了まではそのまま継続して行なう)ただし、決勝戦は2時間制限試合を適用しない。

7回終了時同点の場合は、2時間以内であっても延長戦は行なわずタイブレーク方式に入る。
タイブレーク方式は3イニングまで継続するが、未決着の場合は抽選とする。
決勝戦は7回終了時同点の場合は延長9回まで行ない、9回終了時なお同点の場合は10回からタイブレーク方式に入り、勝敗が決着するまで行なう。

荒天・日没 その他の理由により試合続行が不可能となった場合で、まだ試合が成立していないときには、後日前の試合のイニングと経過時間を引き継ぎ、特別継続試合を行なう。

投手の肘・肩の障害を予防するため、投球に関しては日本中学硬式野球協議会が定める『中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン』に従う。
- ・ 試合の予定 試合の予定は毎週水曜日までにブロック長経由で各チームに連絡する。
木曜日まで連絡がないときには、所属するブロック長に問い合わせのこと。
- ・ 中止の決定 第1試合の中止の決定は責任役員、責任審判員、グラウンド責任者が協議の上、原則当日朝8時以降に決定する。
- ・ チームの失格 試合開始予定時刻に不在のチーム及び選手登録証が未提出のチームは失格となり、当日の試合は不戦敗となる。(グラウンド到着後、速やかにメンバー表、選手登録証、チーム登録申請書コピー、投球回数確認シートを提出のこと)
- ・ グラウンド使用料 1試合当たり2,000円をグラウンド提供チームに支払う。
有料球場の場合は1試合当たり5,000円を責任チームに支払う。

※本大会に出場する神奈川県所属のチームの内、勝ち上がった神奈川上位2チームは、来春行なわれる『ベ이스ターズカップ』に出場する。
同順位となるチームがある場合は、得失点差が大きいチーム、なお同位の場合は失点の少ないチームを優先する。